

教科	芸術	科目名	芸術		
学年	1 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 光村図書 美術 1				
	【副教材】 スケッチブック				

○学習目標

創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

○評 価

知識・技能	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
思考・判断・表現	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
取り組む姿勢	提出物、授業に取り組む姿勢、出席状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・鉛筆デッサン基礎 ・色彩構成 ・日本美術に触れる	鉛筆を使った幅広い表現について学び、技能を高める。写実的に描写する方法を理解する。 色についての基礎知識を学び、調和のとれた配色を考える。 日本独自の美術品について学び、再現する。
2	・立体造形（抽象形態） ・デザインについて ・西洋美術に触れる	・見る人や使用する人の立場になってデザインする。 ・材料について学び、素材の良さを引き出すとともに、抽象形態が生み出す純粋な形態の美しさを見つけ出す。 ・西洋の美術作品について理解する。
3	・版画 ・写真を使った表現	・版画についての知識や特性を理解する。 ・構図を工夫しながら写真の作品を制作する。

教科	芸術	科目名	書道		
学年	1 年	類・コース	書道選択者	単位数	2
使用教材	【使用教材】 東京書籍 書道				
	【副教材】 なし				

○学習目標

書道の幅広い活動を通じて、書を愛好する心情を育てる。語彙、感性豊かにし、書写能力を高める。表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばす。

○評 価

毎時間清書作品提出

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・毛筆高野山競書大会作品制作 ・古典臨書、楷書の学習。	姿勢、筆法を学ぶ。唐代の書を鑑賞し臨書をする。造形美と線質を向上させる。
2	・古典臨書 ・漢字創作 ・行書の書き方	・半切作品にて漢字創作を完成させる。 ・行書の書き方、筆順について学ぶ。
3	・仮名の学習 ・篆刻の学習。	・篆刻作品を制作。雅印を彫る。 ・将来役立てるように一般常識の形式を学習する。

教科	芸術	科目名	美術		
学年	1 年	類・コース	美術選択者	単位数	2
使用教材	【使用教材】 光村図書 美術 1				
	【副教材】 スケッチブック				

○学習目標

創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

○評 価

知識・技能 課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
 思考・判断・表現 課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
 取り組む姿勢 提出物、授業に取り組む姿勢、出席状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・鉛筆デッサン基礎 ・色彩構成 ・日本美術に触れる	鉛筆を使った幅広い表現について学び、技能を高める。写実的に描写する方法を理解する。 色についての基礎知識を学び、調和のとれた配色を考える。 日本独自の美術品について学び、再現する。
2	・立体造形（抽象形態） ・デザインについて ・西洋美術に触れる	・見る人や使用する人の立場になってデザインする。 ・材料について学び、素材の良さを引き出すとともに、抽象形態が生み出す純粋な形態の美しさを見つけ出す。 ・西洋の美術作品について理解する。
3	・版画 ・写真を使った表現	・版画についての知識や特性を理解する。 ・構図を工夫しながら写真の作品を制作する。

教科	芸術	科目名	音楽		
学年	1 年	類・コース	音楽選択者	単位数	2
使用教材	【使用教材】 MOUSA 教育芸術社				
	【副教材】 -				

○学習目標

- ①音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- ②音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。
- ③多様な音楽に興味・関心を持ち幅広く鑑賞するする能力を育てる

○評 価

- 1) 実技テスト 2) 鑑賞に関する作文
- 3) ウクレレ演奏（コード）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1. ウクレレ基礎 2. 音楽用語基礎	・曲の雰囲気積極的に感じ取り、基礎的な歌唱の技能を身につける。 ・いろいろな用語や記号を読み取り、発声や発音・姿勢などの基礎を身につけ、ふさわしい声量で表現する。 ・楽譜に関する知識を身につけ、音や音楽への興味・関心を養う。
2	1. ウクレレ基礎Ⅱ	・楽器の発音原理を理解し、演奏技術を習得する。 ・和音の成り立ちを理解し、ウクレレを体感・演奏する。 ・創作で音楽を楽しむ。
3	1. 鑑賞 2. ウクレレ弾き歌い	・ウクレレを用いて弾き歌いを習得する。 ・楽器の発音原理を理解し、演奏技術を習得する。

教科	芸術	科目名	デジタルグラフィック		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 —				
	【副教材】 —				

○学習目標

①デジタル上での創造活動を通して、現代の表現方法について知識と技能を身につける。②、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。③最新技術を使用した表現に興味関心を持ち、自ら探究する気持ちを育む。

○評 価

知識・技能	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
思考・判断・表現	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
取り組む姿勢	提出物、授業に取り組む姿勢、出席状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ ペイントソフトを使った作品制作 ・ 画像編集ソフトによる作品制作 ・ 作家についての調べ学習	・ ペイントソフトの使い方を理解する。 ・ 画像処理ソフトの使い方を理解する。 ・ ベクター画像とラスター画像について理解する。 ・ 与えられたテーマに沿った作品を創造する。 ・ 興味を持った作家について調べ、まとめる。
2	・ ペイントソフトを使った作品制作 ・ 画像編集ソフトによる作品制作 ・ 3D モデリングを使った作品制作 ・ 作家についての調べ学習	・ ペイントソフトの使い方を理解する。 ・ 画像処理ソフトの使い方を理解する。 ・ 3D モデリングについて理解する。 ・ 与えられたテーマに沿った作品を創造する。 ・ 興味を持った作家について調べ、まとめる。
3	・ 進級制作 ・ AR を使った作品制作	・ 与えられたテーマに対して、これまで学んできたことを活かして自ら表現方法を決定し、作品を制作する。 ・ AR について理解し、作品に取り入れる。

教科	芸術	科目名	サウンドデザイン		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 －				
	【副教材】 －				

○学習目標

音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。

○評 価

レポート課題提出、発表

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	音楽が与える心情効果について学習	・曲、音楽の雰囲気を感じ取り、心情の変化について探求する。
2	世界の音楽、民謡について学習	・現代音楽との結びつきを理解し、世界の音楽を学習する。 ・音楽表現の創意工夫がどのように行われるか理解し、表現法を身につける
3	ゲーム音楽、映画音楽の繋がりを学習	・音楽のルーツを学習し、時代と共に親しみある音楽ができるまでの音楽史を理解する。 ・映像と音楽の関係を理解し、音楽による世界観を感じ取る。

教科	芸術	科目名	造形表現探究		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 -				
	【副教材】 -				

○学習目標

①創造活動を通して、対人援助に必要なコミュニケーション能力を高める。②対人援助の仕事に色彩や造形に関する知識を活かすことができるようになる。③美術文化についての理解を深める。

○評 価

知識・技能	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
思考・判断・表現	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
取り組む姿勢	提出物、授業に取り組む姿勢、出席状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 自然の素材を使った立体表現 ・ 画材についての基礎知識・技能 ・ 児童絵画について	・ 落ち葉や木の実、枝などを工夫して使い立体作品を作る。 ・ 画材の特性や素材、取り扱う際に注意することを制作を通して理解する。 ・ 成長にともなって表現が変化する児童の絵画について基礎的なことを理解する。
2	・ 対人援助とプロダクトデザイン ・ 画材についての基礎知識・技能 ・ 日本の美術について	・ 対人援助の現場で活用されているプロダクトデザインについて調べ、まとめ、発表する。 ・ 画材の特性や素材、取り扱う際に注意することを制作を通して理解する。 ・ 日本の美術作品について理解する。
3	・ 対人援助と色彩について ・ 画材についての基礎知識・技能 ・ 西洋の美術について	・ 対人援助の現場で活用されている色彩について調べ、まとめ、発表する。 ・ 画材の特性や素材、取り扱う際に注意することを制作を通して理解する。 ・ 西洋の美術作品について理解する。

教科	芸術	科目名	演奏探究		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 －				
	【副教材】 －				

○学習目標

音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。

○評 価

授業内筆記試験

器楽実技試験

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ 楽典（基礎知識）	・ 楽譜に関する知識を身につけ、音や音楽への興味・関心を養う。
2	・ 楽典（音程）	・ 和音の構成を理解する。 ・ 基礎的な聴音力を習得する。
3	・ 楽典（和音） ・ 聴音	・ アンサンブル演奏を通して、音楽演奏の楽しさ、感動を味わう。

教科	芸術	科目名	デジタルグラフィックⅡ		
学年	3 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 －				
	【副教材】 －				

○学習目標

①デジタル上での創造活動を通して、現代の表現方法について知識と技能を身につける。②、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。③最新技術を使用した表現に興味関心を持ち、自ら探究する気持ちを育む。

○評 価

知識・技能	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
思考・判断・表現	課題作品、授業内筆記テスト・実技テスト
取り組む姿勢	提出物、授業に取り組む姿勢、出席状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ ペイントソフトを使った作品制作 ・ イラスト画像を使ったシームレスアニメーション作品作成 ・ 作家についての調べ学習	・ ペイントソフトを使って魅力的なキャラクターを作成する ・ シームレスアニメーションソフトの使い方を理解する。 ・ 与えられたテーマに沿った作品を創造する。 ・ 興味を持った作家について調べ、まとめる。
2	・ デジタルグラフィックⅠとデジタルグラフィックⅡで学んだことを活かした卒業制作	・ 卒業制作の主題を見つける ・ これまで学んだ知識と技術を活かし主題に合った表現方法を選択する
3	・ 卒業制作のプレゼン 合評 ・ 作家についての調べ学習	・ 自分の作品について魅力的なプレゼンができる力を伸ばす ・ 他者の作品の良さについて発見する力を高める ・ 興味を持った作家について調べ、まとめる

教科	芸術	科目名	表現探究		
学年	3 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 —				
	【副教材】 ペン字ワークブック				

○学習目標

実用に使用する形式や、基本常識を学ばせる。旧字体の筆順、造形を学ばせる。文章の書き方、縦書きの方法、美しい文字の書き方を学ばせる

○評 価

毎時間課題提出、ペン字ワークブック

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・毛筆高野山競書大会作品制作 ・硬筆、カタカナ、平仮名、漢字、履歴書	筆順を正しく理解する。美しい造形の書き方。ペンやマジックを使用し、実用書道を学ぶ。
2	・古典鑑賞 ・硬筆、楷書、縦、横書き ・行書の書き方	・実用に使用できる、縦、横の文章の書き方について学習する。 ・行書の書き方、筆順について学ぶ。
3	・毛筆作品制作、八つ切り、半紙 ・マジックを使用し、祝い袋や、実用書。	・日常で使用する文字造形について学ぶ。 ・将来役立てるように一般常識の形式を学習する。